

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人愛信芳主会	代表者	塚本恵里香	法人・事業所の特徴	カトリック精神に基づき愛と真心を持って福祉事業に努める。「施設理念」として①笑顔を提供する ②とにかくやってみる ③残りの時間を大切に考える ④本人や家族の想いを考える ⑤プロとして学び行動する
事業所名	丘の上倶楽部片倉	管理者	亀井裕之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	人	人	1人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○「事業所自己評価」と「総括表」について、職員会議にて毎月点検を行う。	「事業所自己評価」と「総括表」の改善計画については、意識して取り組んだ。	職種や勤務形態によって、スタッフ自己評価に対する意識に差が出てしまいました。	①各改善計画について職員会議などで毎月評価・見直しを行う。 ②勤務形態の違いなどで地域や家族との関わりが持てなくても、施設で働く職員として意識を持つよう教育を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	○事業所の案内を設置して、相談や問い合わせをし易くする。移動式の看板を設置する。	年度の後半で看板の設置が出来たが、もともと人通りも少ないので認知度は低い。	特になし	①建物の構造的にも入りにくいいため、案内板の増設や、SNSやホームページを活用し気軽に訪れられるよう周知する。
C. 事業所と地域のかかわり	○移動式看板を設置し、介護などの相談窓口としての案内を掲示する。 ○感染症予防を継続し、地域での活動を拡大する。再開されるイベントなどあれば参加をする。	事業所があるという周知が進まず、気軽に入りやすい作りではないため、飛び込みの相談はほとんど無い。 職員が地域の行事やイベントに参加する余裕が無い。	看板や案内なども少なく、目につきにくい場所のため、興味の無い方には知られていない。 近隣の有料老人ホームの職員は清掃に参加しています。	①気軽に訪れられるような工夫と同時に、地域の清掃デーなどに職員が参加をする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	○移動式看板を設置し、介護などの相談窓口としての案内を掲示する。 ○感染症予防を継続し、地域での活動を拡大する。再開されるイベントなどあれば参加をする。	利用者が居住している地域での行事は把握していない。 利用者以外の心配な方の情報は入って来ない。	地域のイベントが再開され始めたため、参加する機会は増えた。	①利用の有無に関わらず、困っている事が相談出来る事を、様々な媒体で発信する。 ②利用者が個別に参加したい行事やイベントがあれば協力をする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	○参加者を増やす 利用者 利用者家族 ○運営推進会議にて少なくとも1件は個別ケースなどの点検を行う	利用者家族に参加を案内したが、定着出来なかった。 個別ケースの検討はある程度定着して出来た。	特になし	①運営推進会議の参加者を増やす。 ②運営推進会議にて少なくとも1件は個別ケースなどの点検を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	○防災計画を運営推進会議時に配布閲覧してもらう。 ○地域で行われる防災訓練等の情報を収集し、可能な場合は参加する。 ○運営推進会議委員へ防災訓練への参加を案内する。	町会の防災訓練が無いため、地域との連携は出来ていない。 地域の方や委員に、防災訓練への参加を促していない。	高齢化などで町会でも防災訓練を止めてしまいました。	①運営推進会議の中に防災計画・BCPの説明を入れる。※年度内に1回以上 ②運営推進会議にて、防災訓練への案内や防災訓練の報告を行う